



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

後援会の皆さんと
地域訪問

「共産党は防衛費ではなく医療や子育てに回すべきと考えています」

それならと署名してくれる人も



9/14 地域支部との訪問を終えて
平あや子さんと遠藤れい子

9月14日 あいにくの雨でしたが、新しい家が並ぶ子育て世代が多い団地を、後援会の皆さん5人と平あや子さんと私の7人3組で地域訪問をしました。

インターフォンを押して

「医療機関の存続を求める署名に協力していただませんか？」とインターフォン越しにお願いすると、3分の1くらいの方がドアを開けてくださいました。

「診療報酬上げて医療費が高くなるなら署名はしない。」とおっしゃる方も。

「安倍政権の時に比べ、防衛費は2倍の9兆円になりそうです。共産党は防衛費を伸ばすことに反対です。」

防衛費ではなく医療や子育てに回すべきと考えています。」と説明すると、それならと署名してくれる人もいました。

身内が医療関係の方は、「大事な活動ですね。病院を守るため頑張ってください。」と家族の署名もしてくだしました。

「子どもに日本のお米を食べさせたいが、できない。なんとかしてほしい」

要求アンケートでは3人の子育て真っ最中のお母さんからは、「子どもたちに日本のお米を食べさせられない。今は輸入米です。物価対策何とかしてほしい。」と切実な訴えでした。

自民党は党内の総裁選のことばかり。マスコミも加担しているようです。

国会を開いて一刻も早く物価高対策、消費税減税など、国民の生活が良くなる対策を進めるべきです。

「医療機関の維持存続への支援を求める
請願署名」にご協力を（社保協が署名推進）

大学病院が赤字転落に

9月10日、新潟大学病院が10億円の赤字転落と地元紙の一面にショックな報道がありました。物価高騰

は私たちの暮らしも直撃しています。命を守る病院経営にも深刻な影響となっています。

請願署名にご協力をお願いいたします。

戦後80年の9月12日、長岡赤十字看護専門学校講堂にて「殉職救護員献花式」が執り行われました。

戦争で命を奪われた日赤の先輩方、20歳から28

歳までの26人の遺影にお花を手向けさせていただきました。

全員、結核、腸チフス、マラリアなどの感染症で命を落としました。

劣悪な環境で栄養も取れなかったことが想像できま

す。さぞかし無念だったこと

でしょう。戦地で、病院

船の中で、国に

戻って亡くなつて

おられるのです。

今も世界で続

遠藤れい子の
笑顔でファイト

いている戦争。

赤十字「殉職救護員献花式」に参加。再び戦争を起こしてはならない。



会場正面に26人の遺影が飾られて

イスラエルの攻撃で、ガザではたくさんの子どもたちが飢餓・栄養失調で命を落としています。ウクライナでも戦闘が拡大しています。

戦争は始めたら終わらせることが難しい。絶対に戦争を始めてはなりません。再び「殉職」などという言葉が使われることがないようにしていかなくてはなりません。